



俺とアーノルドは
もう、
用無しという
事か……

アーノルド (中編)

前回の
あらすじ: アーノルドと
博士の所に2号が来た

本 秀 康



内山田君、
何を
する
気だ？



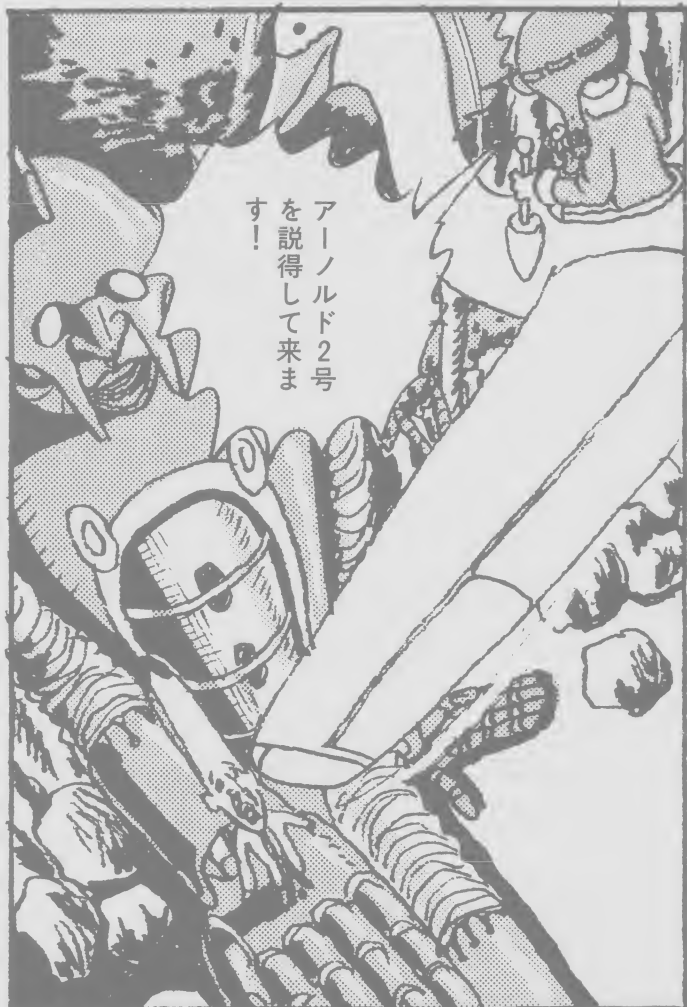
行くぞ、
トリ号！

スタッ



よしときなさい、
ムダだと思うよ。
危ないしさあ……
よしときな。

やってみないと
判らないでしょう！



アーノルド2号
を説得して来ま
す！



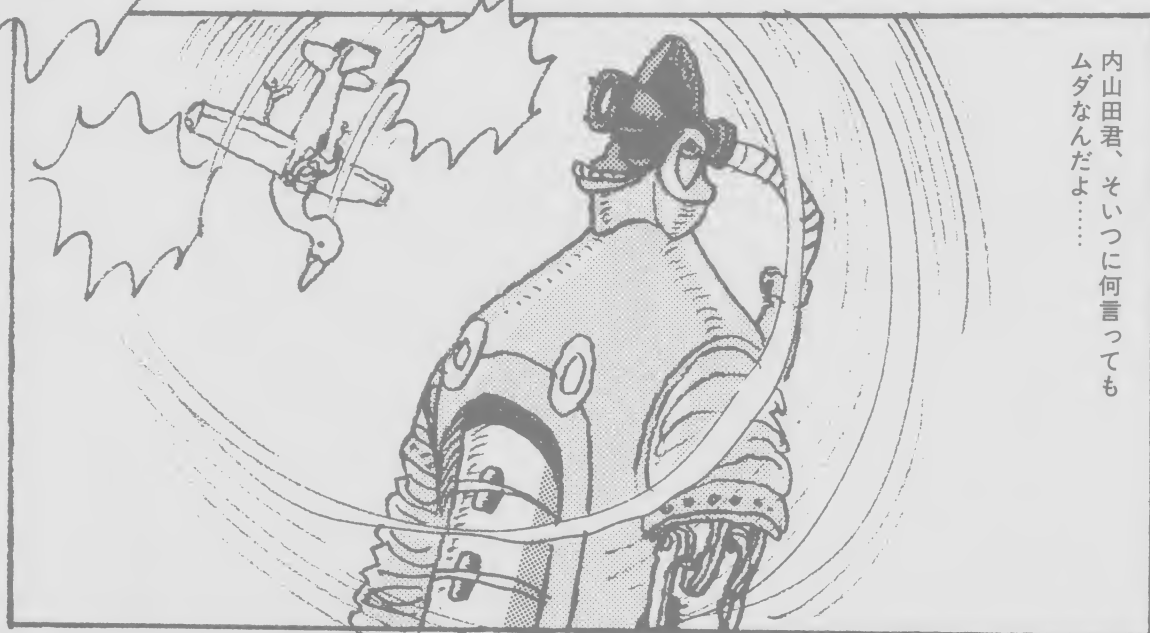
ねえ、ねえ
2号さあ、

博士絶対
連れて帰
えるから、

ちよつと
待ってて
くれよ！

なあ、
2号。

ゴ
ー
ッ



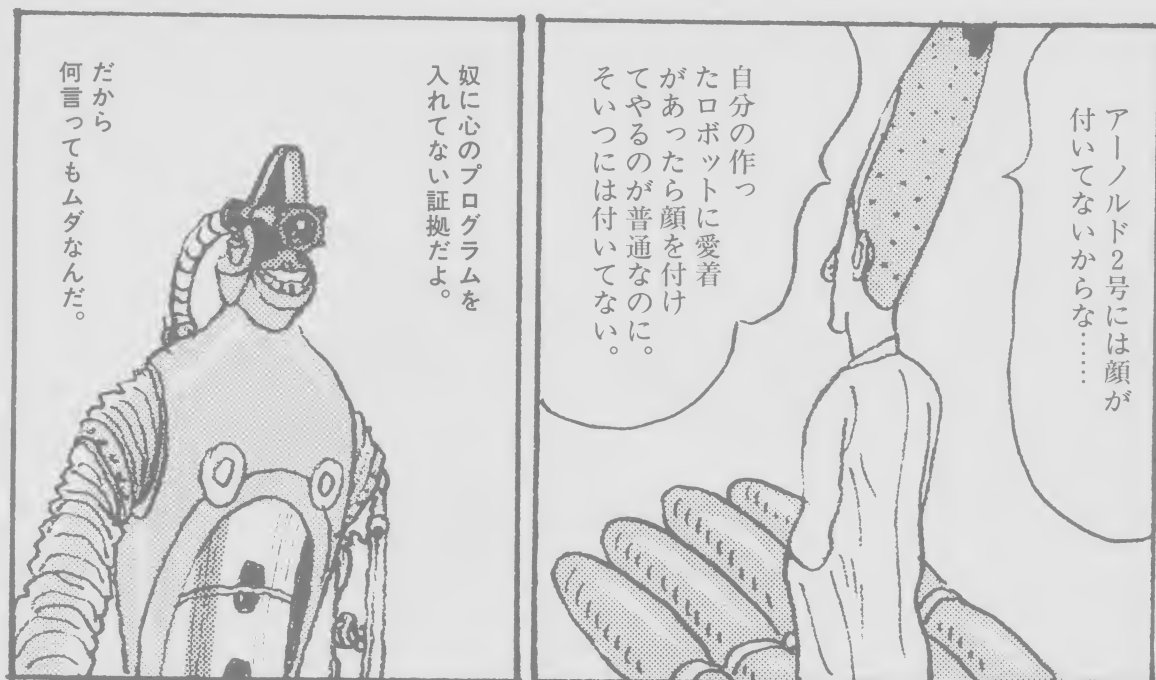
内山田君、そいつに何言っても
ムダなんだよ……

アーノルド2号には顔が
付いてないから……

自分の作っ
たロボットに愛着
があったら顔を付け
てやるのが普通なのに。
そいつには付いてない。

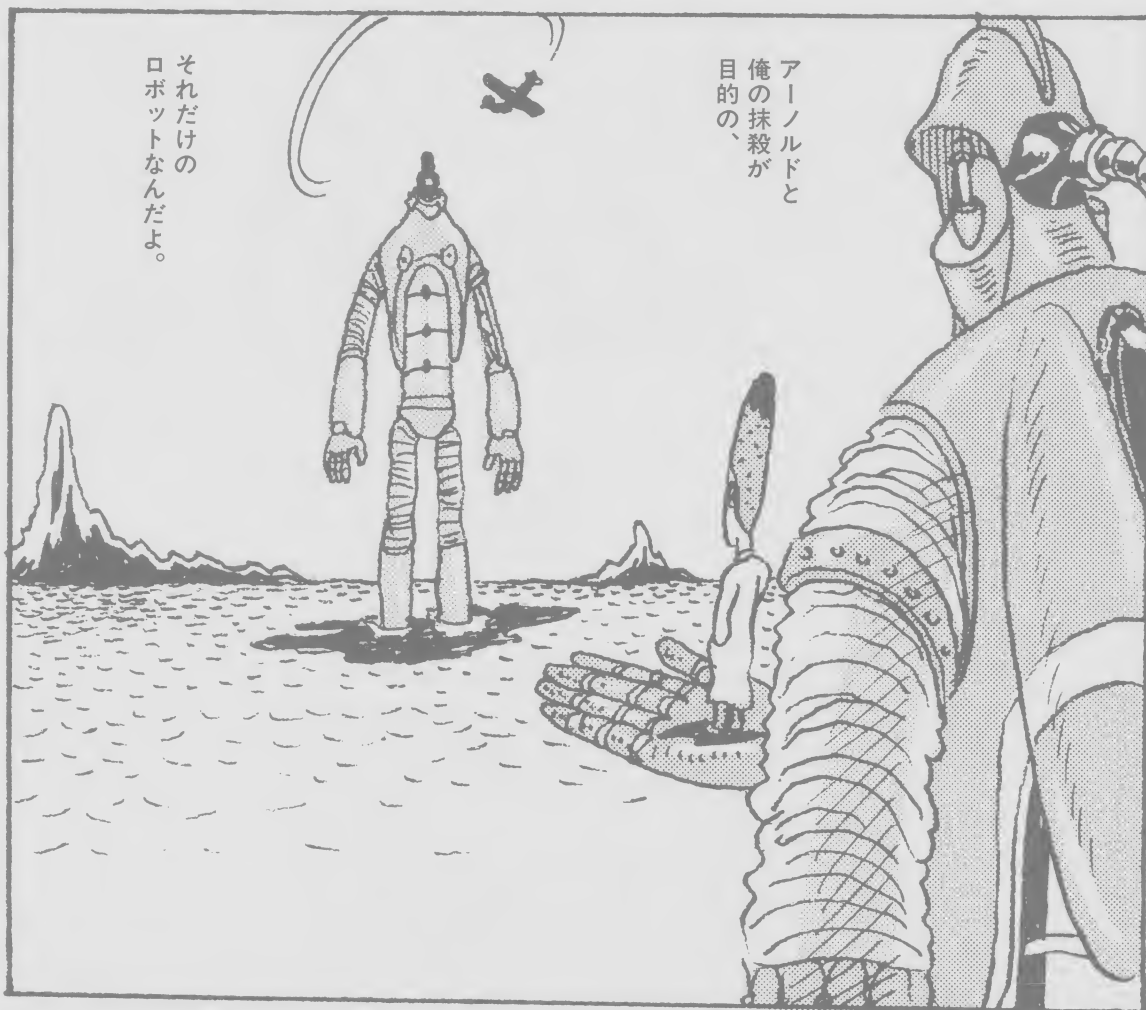
奴に心のプログラムを
入れてない証拠だよ。

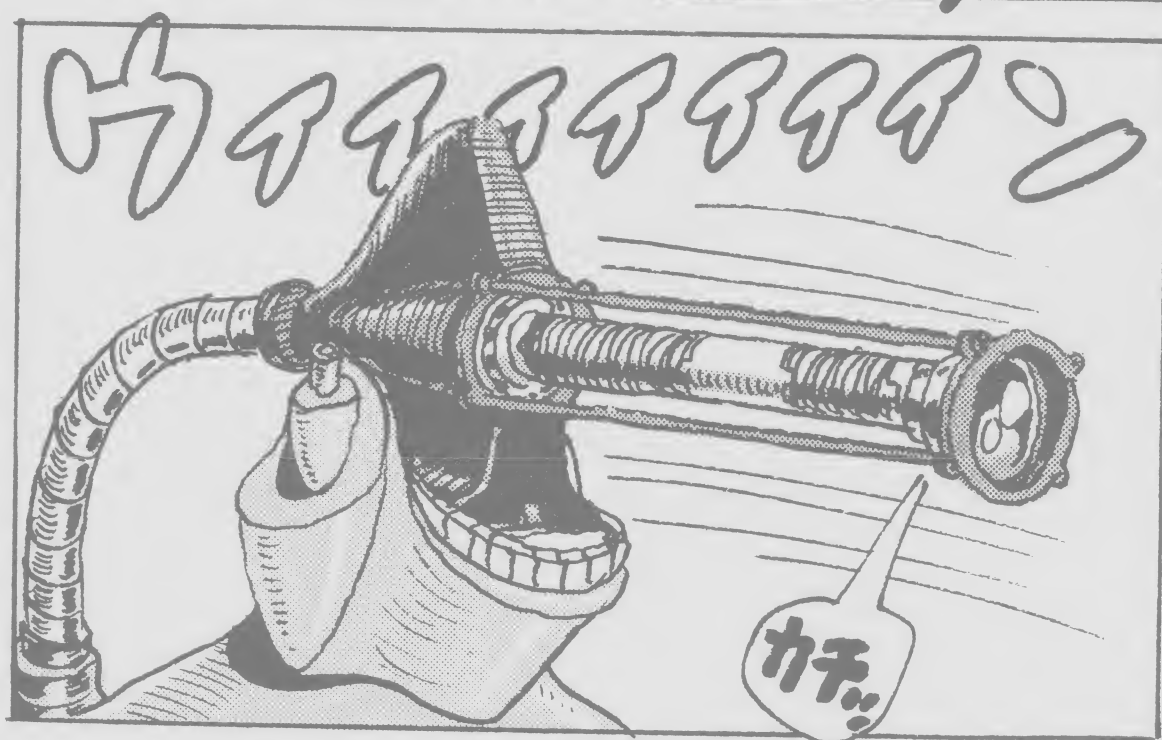
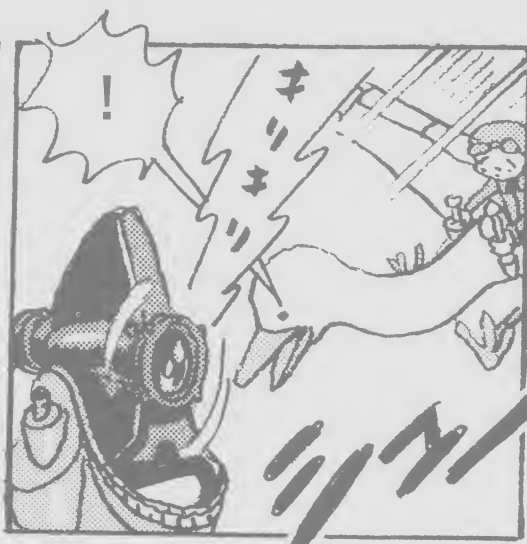
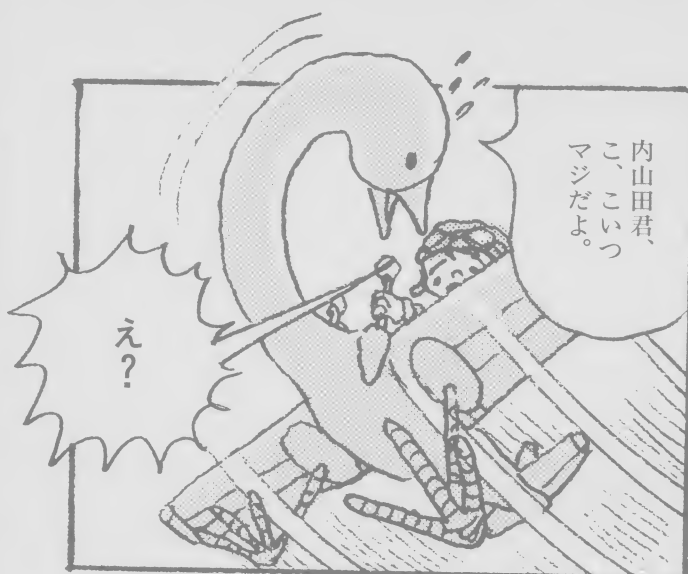
だから
何言ってもムダなんだ。



アーノルドと
俺の抹殺が
目的の、

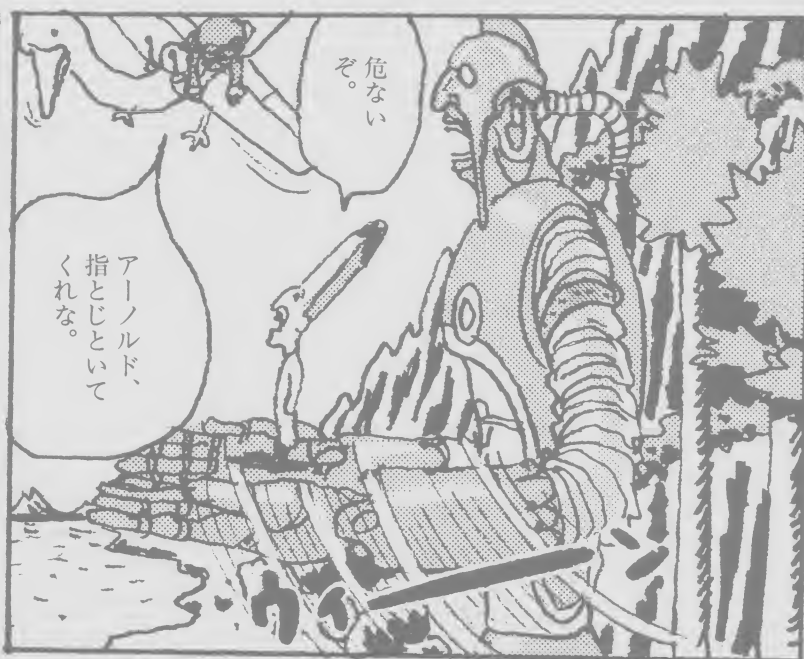
それだけの
ロボットなんだよ。

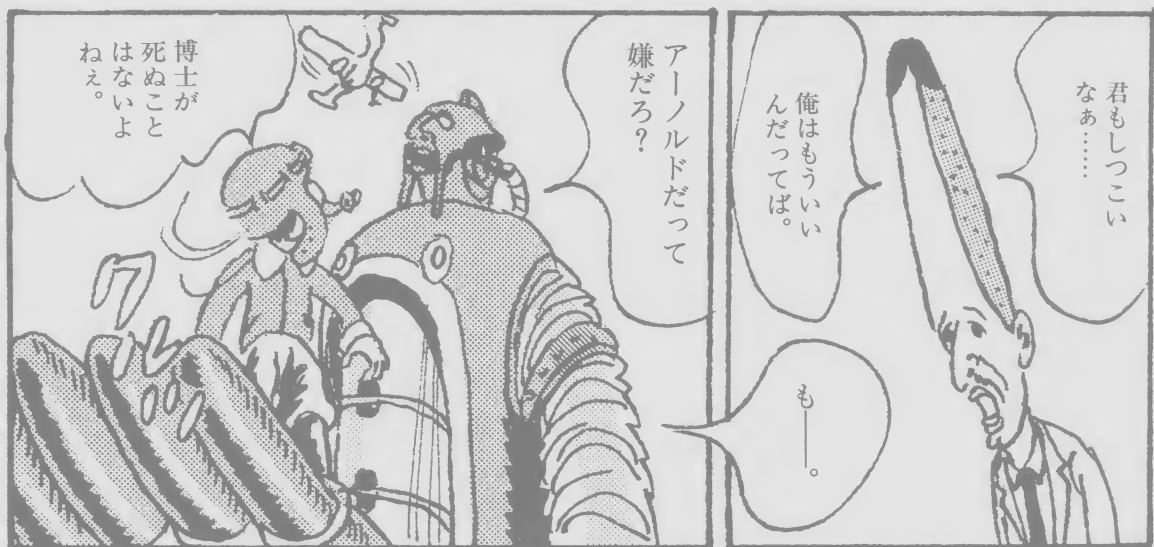
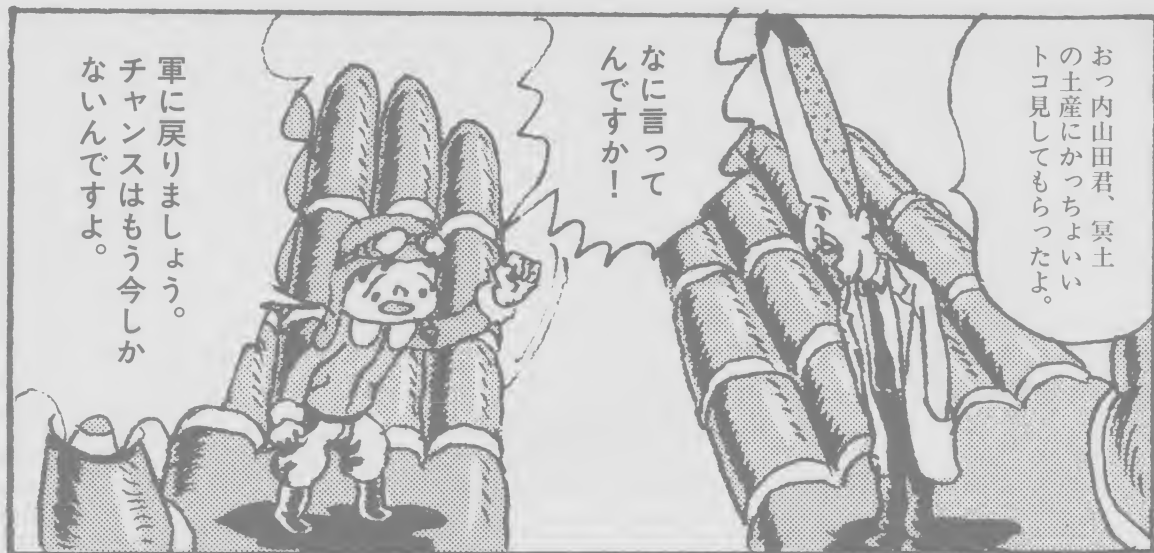


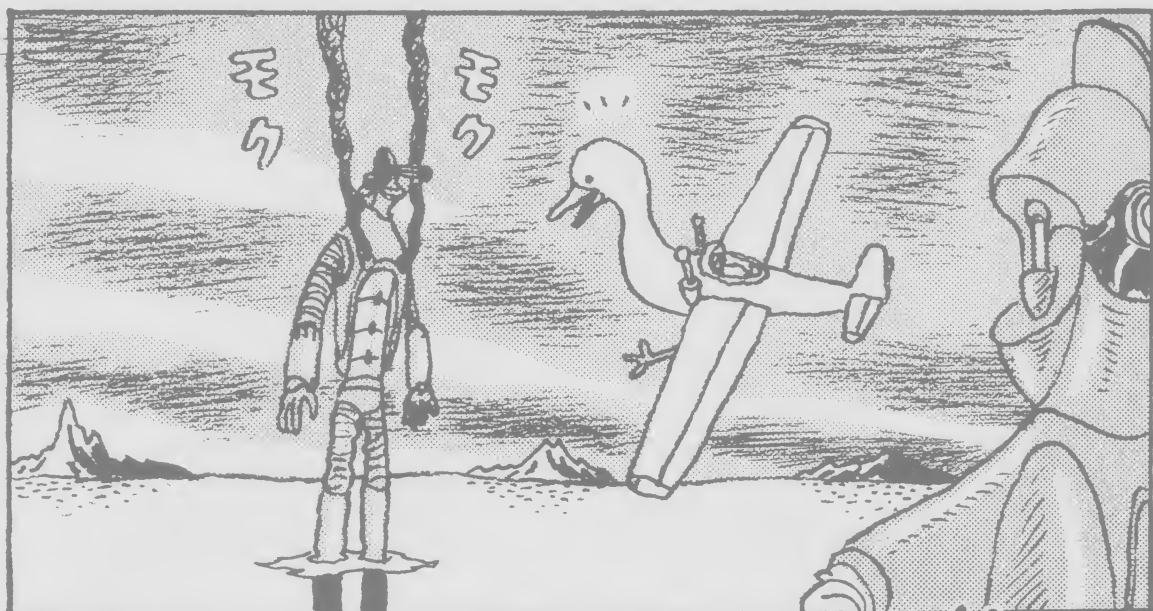


博士~~~~っ、
コイツ、
ヤバイです
よ!!

早く降参の
意思表示を
しないと、
本気で撃つ
て来ますよ!



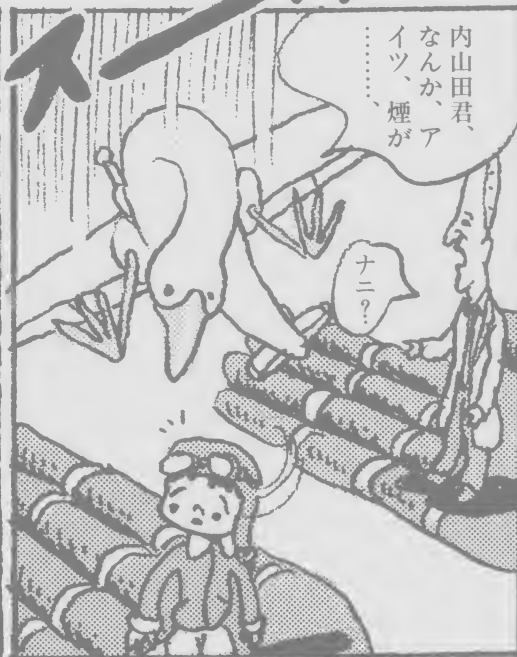




あと一分以内に
発射するぞ!!



う、内山田君、
早く、早く
逃げなさい!



内山田君、
なんか、ア
イツ、煙が

ナニ?



う、うそ
お〜っ。

と、とにかく
早く、
トリ号で
逃げましょう。

うーん。
だから俺は
いいから、君だけ
逃げてくれ。

アーノルドを
見捨てて逃げる
訳にはいかないから。

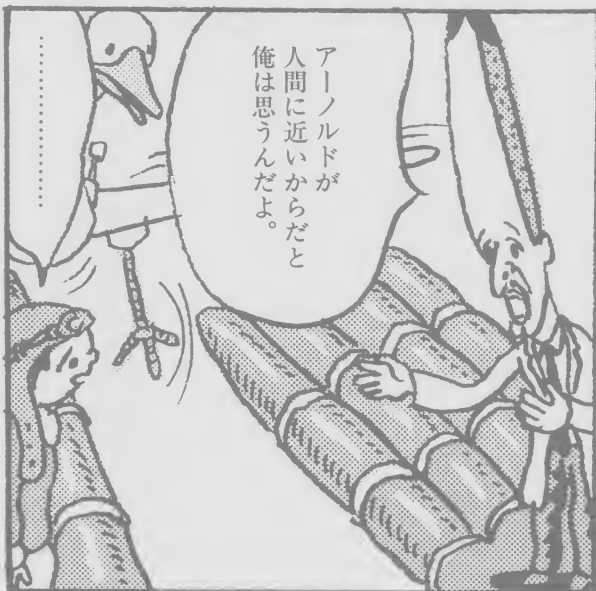


こいつ、
ロボットなのに
なんだか
俺と心が通じる
んだよな。

不思議な
感じするよ。

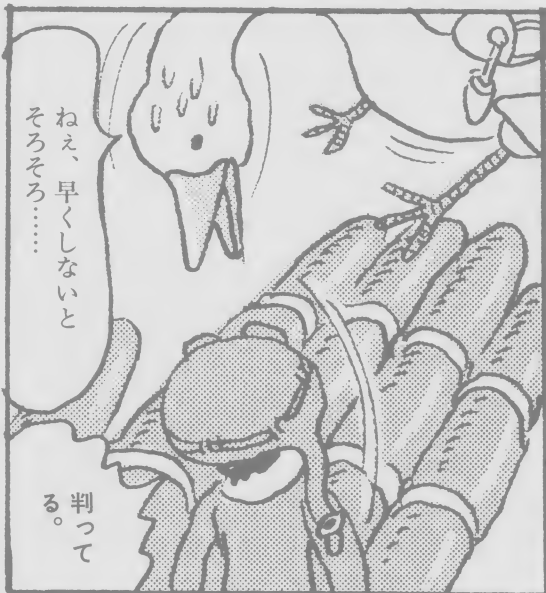


アーノルドが
人間に近いからだ
俺は思うんだよ。



ねえ、早くしないと
そろそろ……

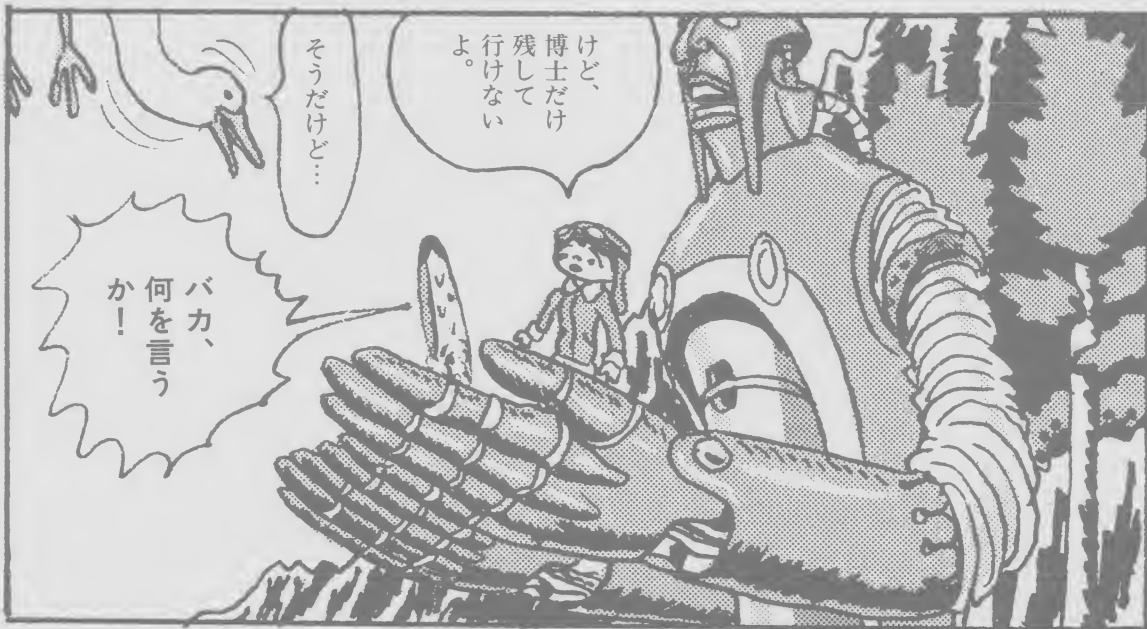
判って
る。

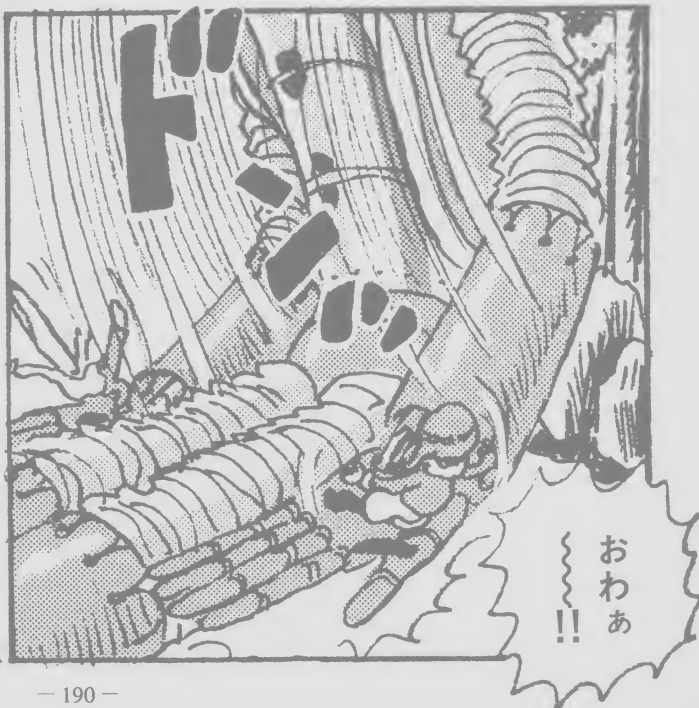
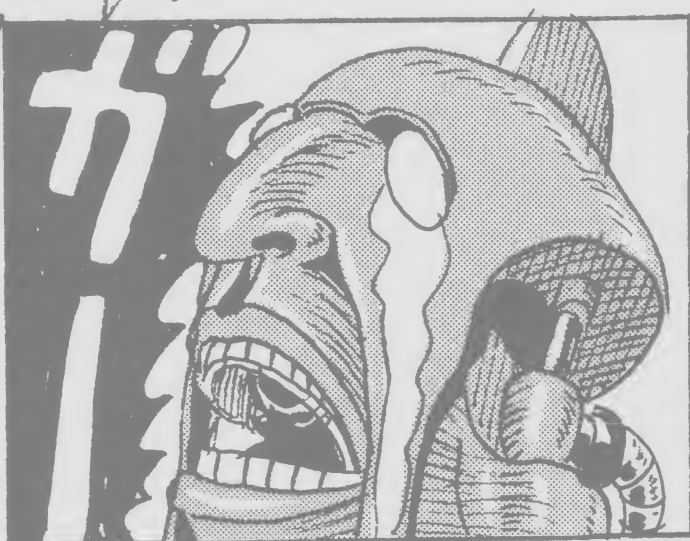
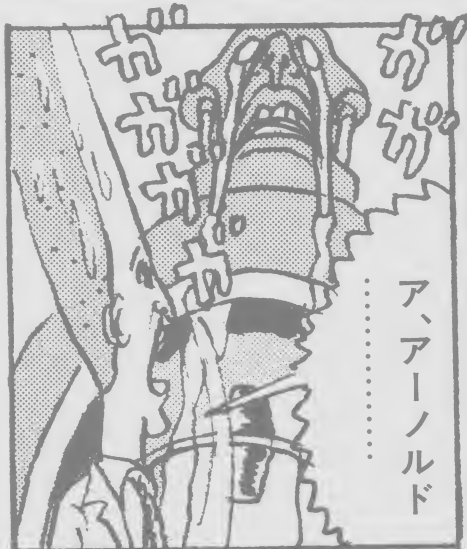


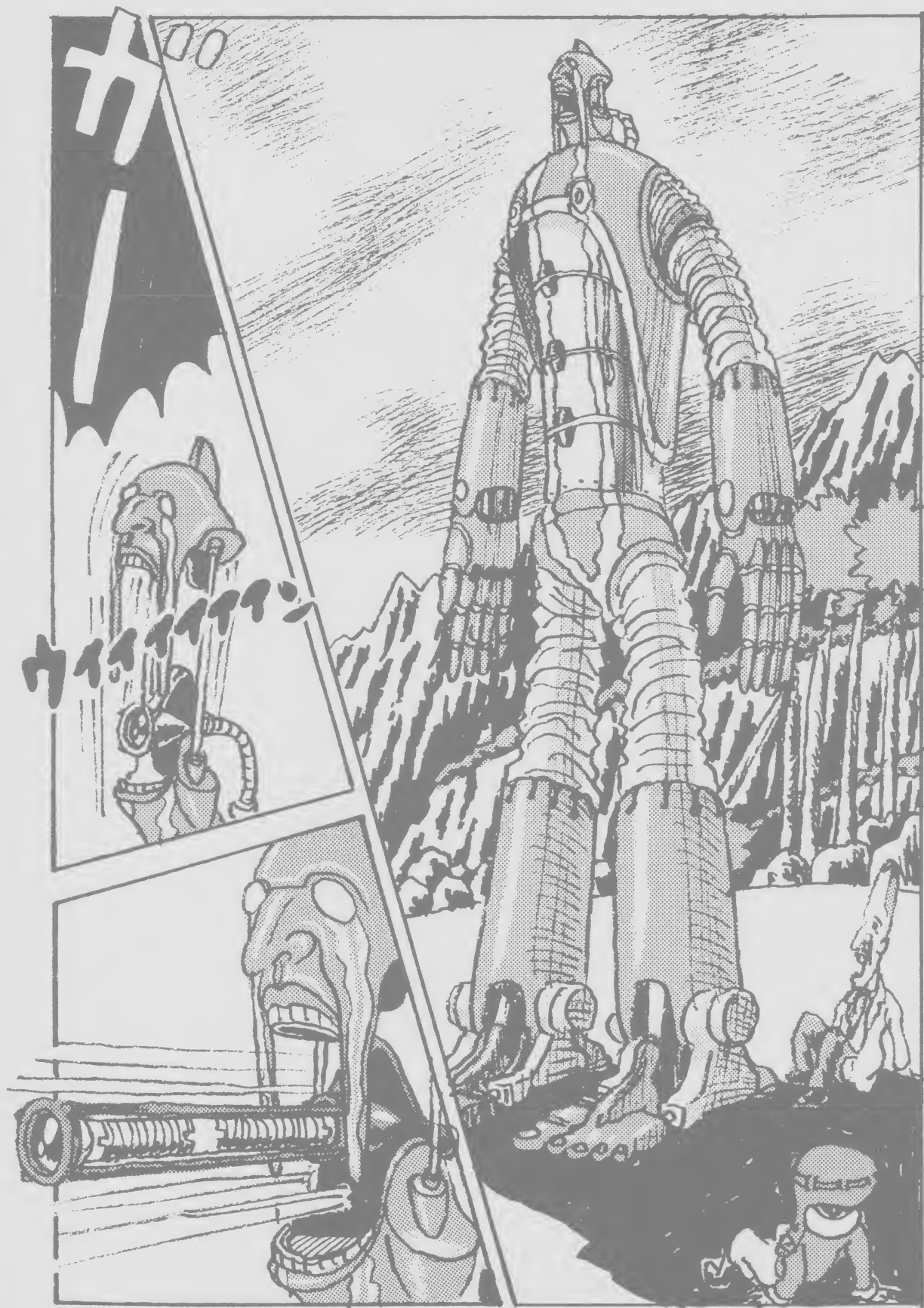
けど、
博士だけ
残して
行けない
よ。

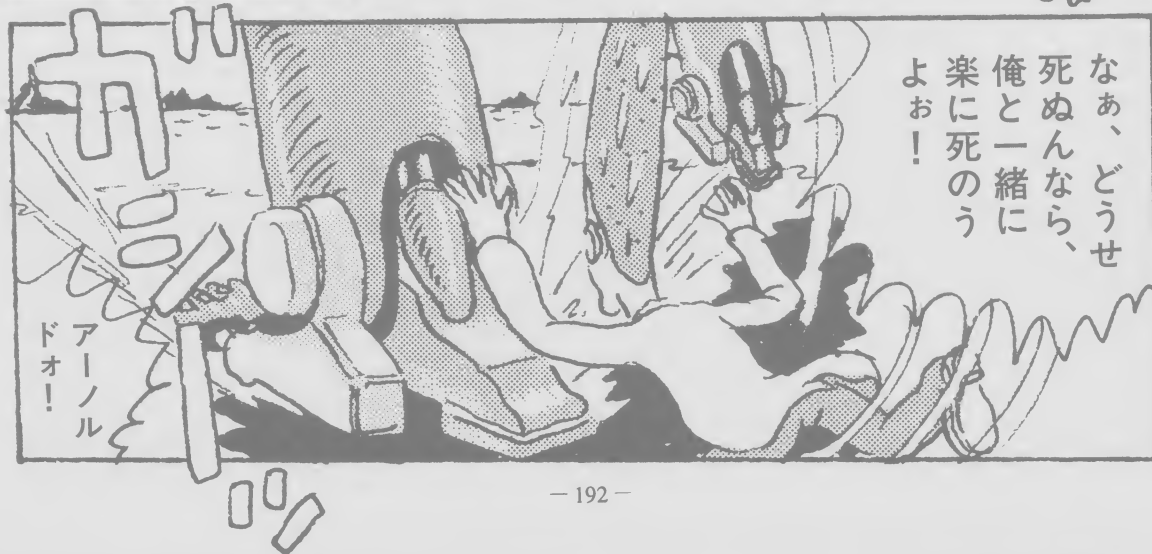
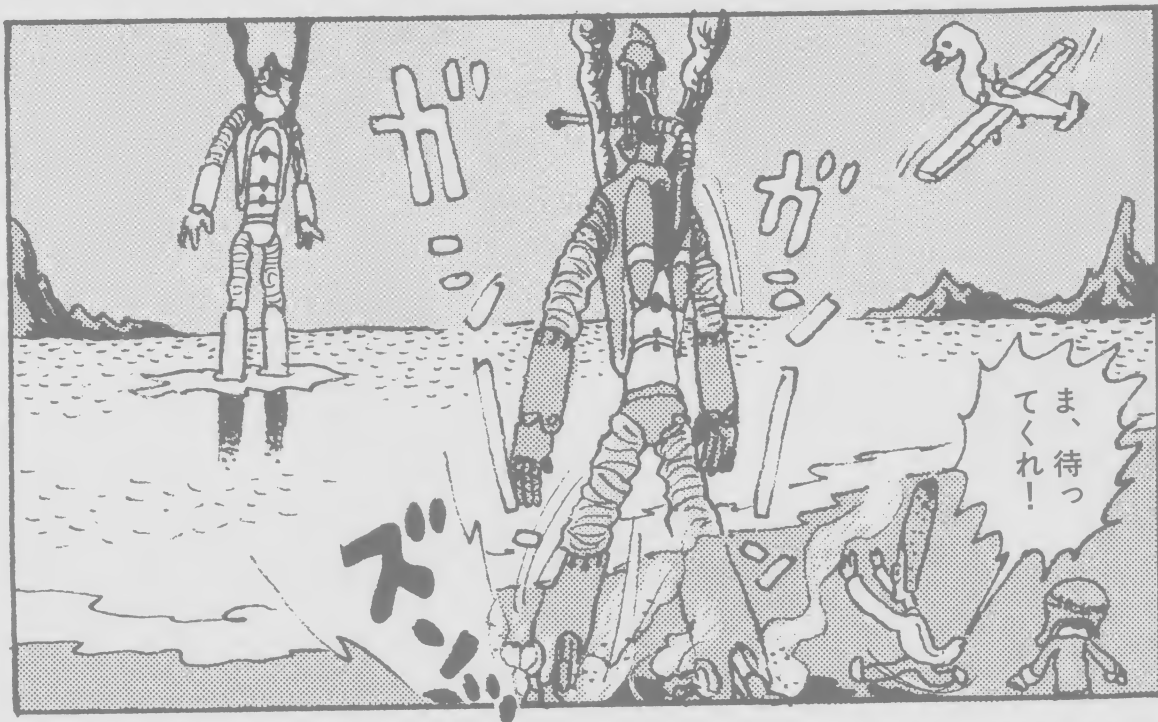
そうだけど……

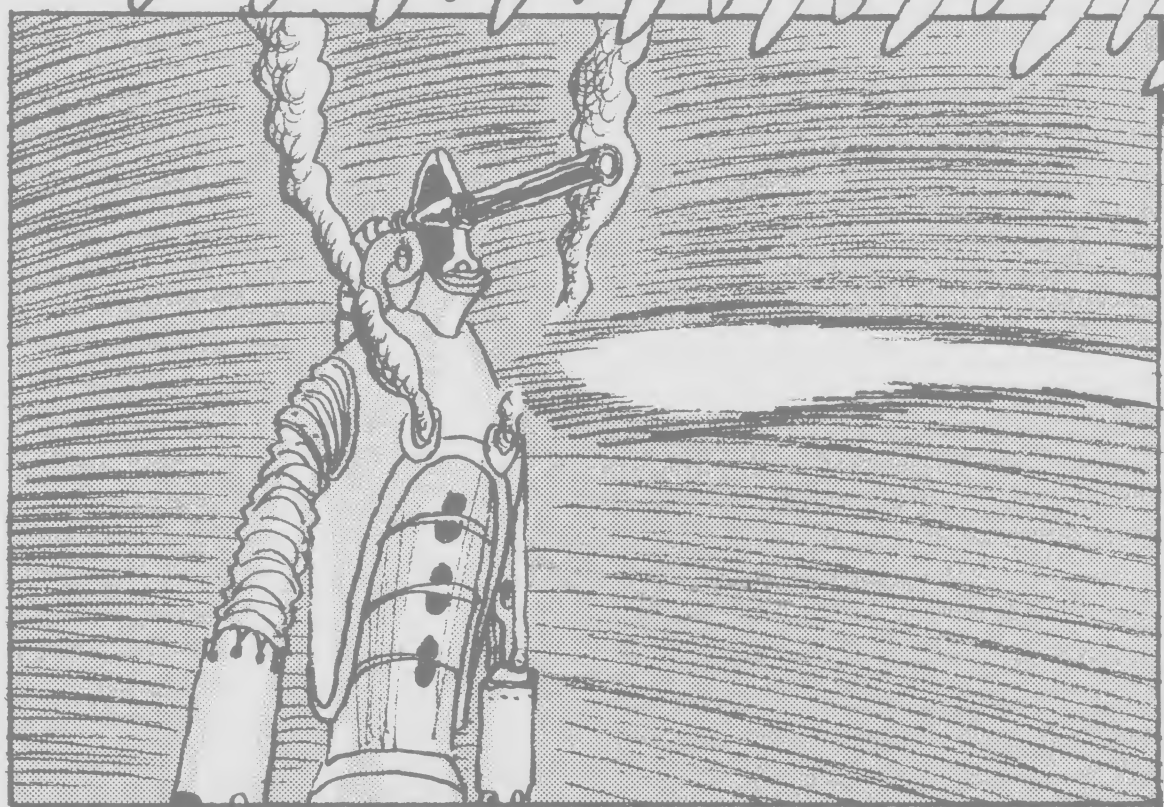
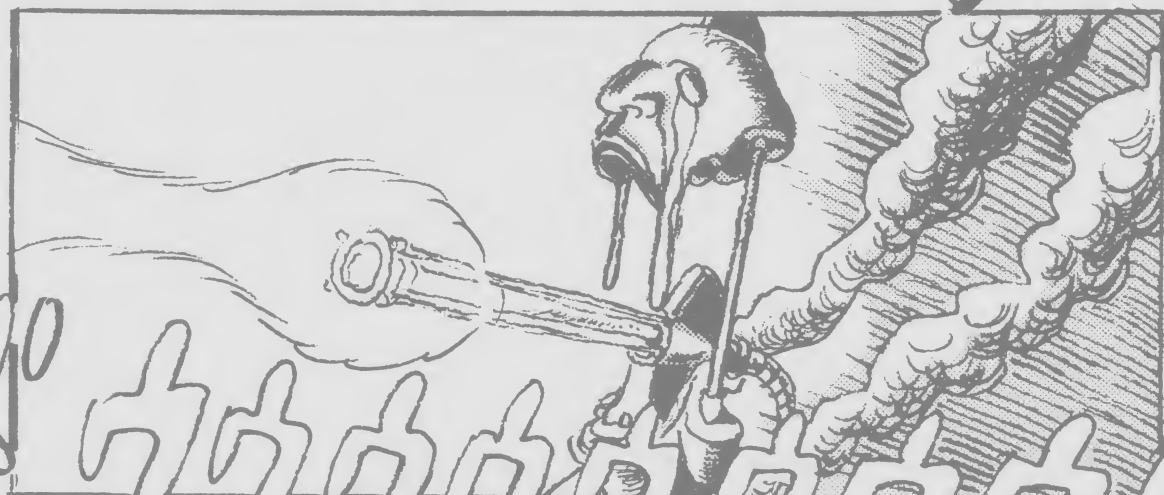
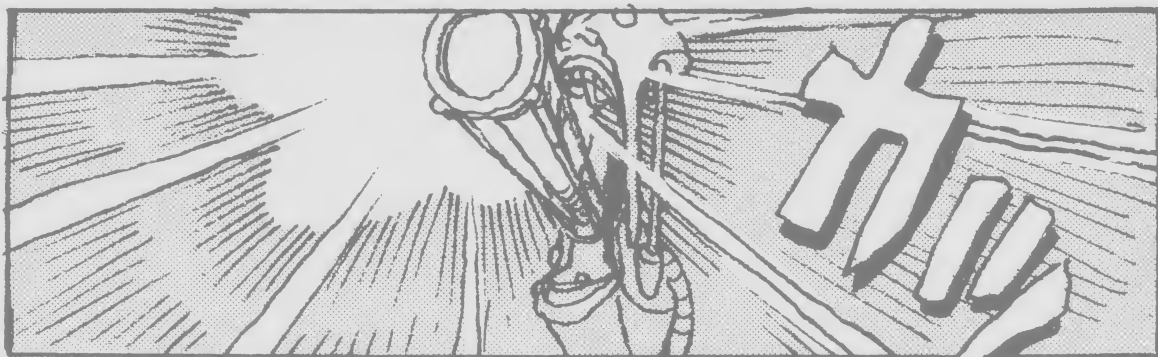
バカ、
何を言う
か！

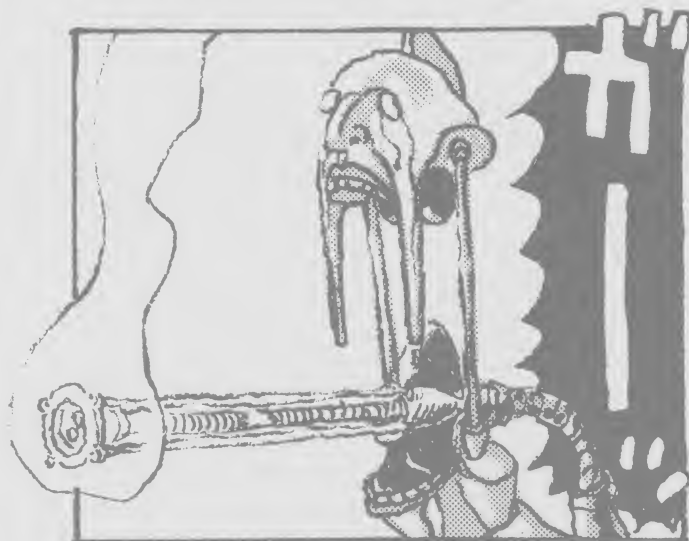


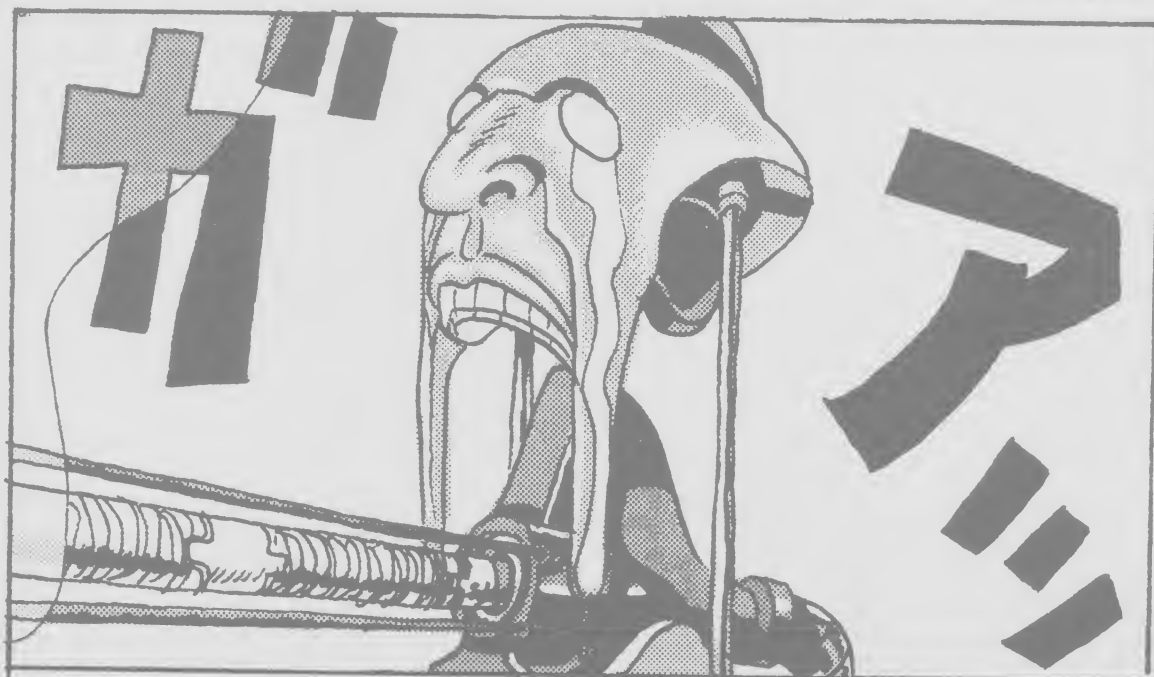
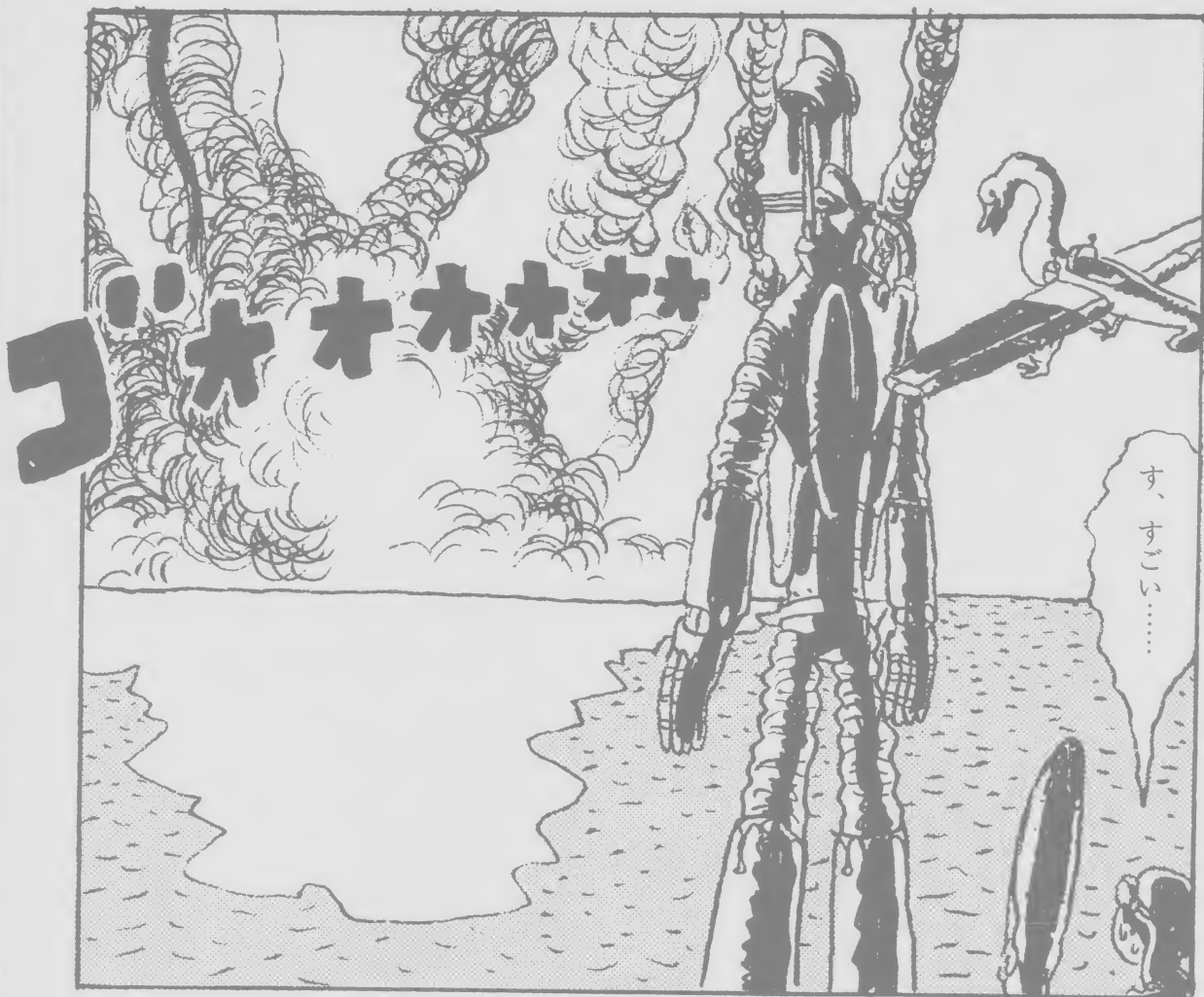


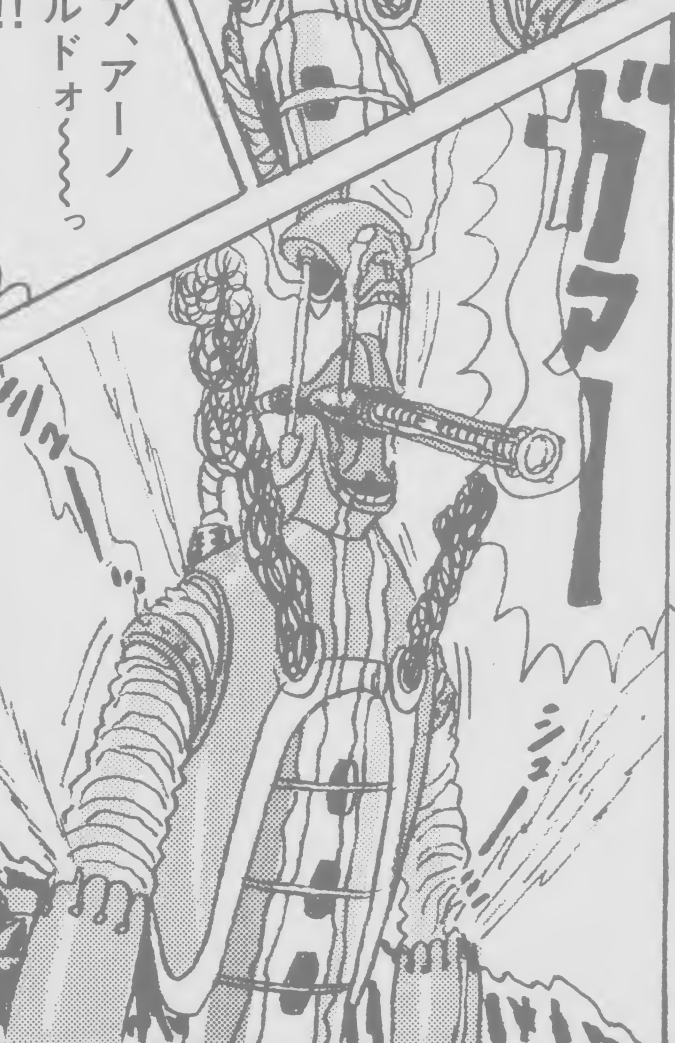
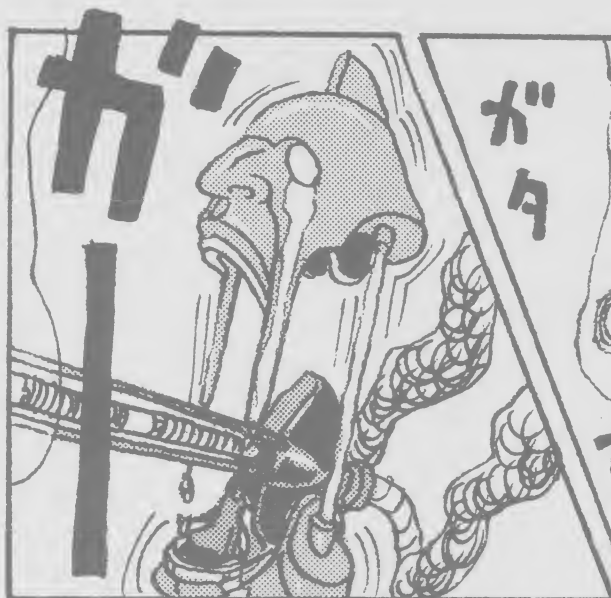


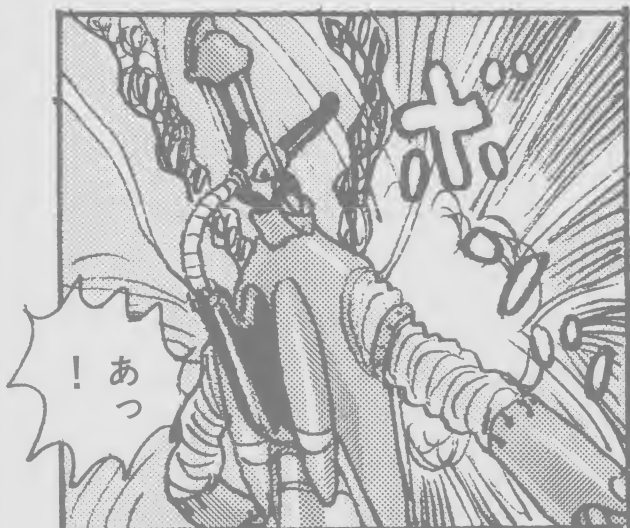
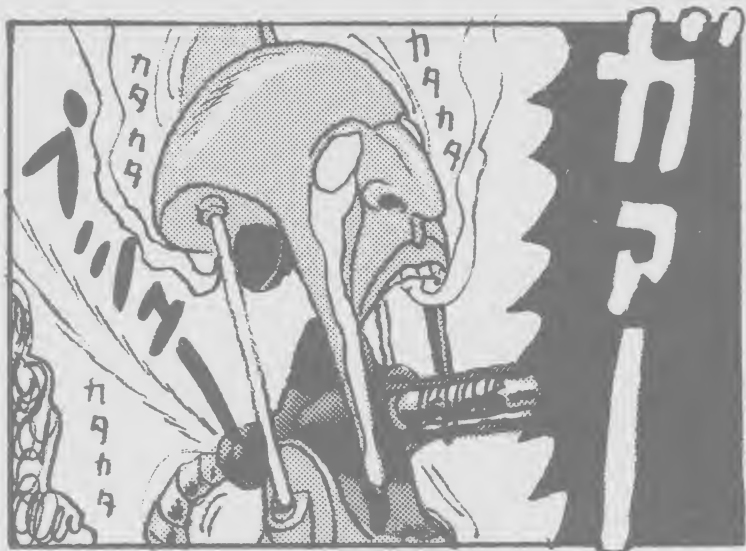












内山田君、ア
ーノルドを助
けてくれっ!!

心の
プログラムを消し
てくれないか!

今なら
間に合う!!

行くぞ、
トリ号。

頭の裏側に
スイッチが
ある!

頭の裏側…

……あった
これか……

ん？

博士~~~~っ、
スイッチ3個あり
ますよ~~~~っ。



バカかつ、君は
！
全部だ
よ、全部、
3つとも下に
パチンとす
るの！！

急げ
よ！

このポケ
があっ！！

は、は
いっ！



ちえつ、博士の奴
いい気なモンだよ。
軍の作戦にモロはまってる
博士の方がポケのくせによ……

